

ひまわり学級1・2年道徳科学習指導案

令和6年1月24日(水)

わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前 Next stage へ ～協働×問い＝深い学び～

目指す児童像：楽しみながら学び、自分の考えを表現できる子

- 1 主題名 やさしい気持ち (B 親切、思いやり)
- 2 ねらい 身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
- 3 教材名 「ぐみの木と小鳥」(出典：『かがやけみらい』小学校道徳2年 学校図書)
- 4 主題設定の理由
本主題は、小学校学習指導要領(平成29年7月告示)

特別の教科 道徳 第2内容

B 主として人との関わりに関する事

[親切、思いやり] 第1学年及び第2学年

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

※特別支援学校指導要領

第3章 特別の教科 道徳

小学部又は中学部の道徳科の目標、内容及び指導計画の作成と内容の取扱いについては、それぞれ小学校学習指導要領第3章又は中学校学習指導要領第3章に示すものに準ずるほか、次に示すところによるものとする。

- 1 児童又は生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る必要があること。
- 2 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にしながら、経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるように指導する必要があること。
- 3 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、内容の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れるなどの工夫を行うこと。

(1) ねらいとする道徳的価値について

思いやりとは、相手の気持ちや立場を推し量り、相手の立場に立って温かく接したり、励ましたり、援助したりする行為から生まれる。また、それらの行為はよりよい人間関係を築くうえで必要不可欠である。

特別支援学級に在籍する児童は周りの人から親切にされることが多い。しかし、常に受け身ではなく、自分ができる親切は積極的にすること、そのために周りの状況や様子に気を配ることは社会の中で他者と関わりながら生きていくために必要なことである。本学級の児童の多くは、相手の気持ちを想像することが苦手であるが、だからこそ自分の気持ちを基に相手のことを考えたり相手に親切にしたりすることが大切である。本時を通して相手を思いやる気持ちが親切な行動につながっていくことに気付かせ、相手を思いやる心情を育てたい。

(2) 児童の実態

略

(3) 教材について

本資料は、ぐみの木に親切にされた小鳥が、友達のりすのことを心配しているぐみの木を見て、何か自分もできないかと行動をする。ある日嵐が来たが、りすを心配するぐみの木のために、力をふりしぼってぐみの実を届けに行く内容である。

指導に当たっては、実際に小鳥の役になりぐみの実を届けに行く場面で、役割演技をするとともに、お礼を言われてうれしい気持ちになる体験をさせ、ねらいに迫りたいと考える。また、日常生活の一場面をグループに分かれて役割演技をしながら意見交流をすることで、生活に結び付けた指導を目指す。

5 研究主題に迫るための手立て

「協働×問い＝深い学び」を実現させるための工夫

手立て① 4つの問いの工夫

- ・導入で主題に関連した場면을提示し、気持ちを考えることで主題に対する課題意識をもたせる。(理解の問い)
- ・資料提示を行う際に、教員による劇を行うことで、児童の興味・関心を引き教材の内容理解につなげる。(理解の問い)
- ・友達の発表をした後に同じ考えかどうかをハンドサインで表現することができる。(関連の問い)
- ・主題に関連した日常生活の一場面を取り上げることで、主題に沿って活動に取り組むことができる。(方略の問い)
- ・日常生活の一場面を役割演技することで、自分自身の生活に結び付けて考えられるようにする。(振り返りの問い)

手立て② 自分の考え方のもたせ方の工夫

- ・言葉や思いを引き出すために、実際にぐみの実を運ぶ場面で、役割演技を通して登場人物の気持ちを考えやすくする。
- ・気持ちを考えることや表現することが苦手な児童に対しては、場面絵を見せ登場人物がどんな顔をしているか表情カードを選ばせたり、他の児童が発表した気持ちや考えに同意する意味のハンドサインで表現させたりする。

手立て③ 協働の工夫

- ・3つの小グループに分け、主体的に関わり意見交流を行うことができるようにする。
- ・教師がファシリテーターとなり、考えを深めたり同じ意見に同意したりするなどそれぞれのめあてに沿った活動を行う。

6 本時

(1) ねらい

身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。





(2) 展開

	○：学習活動	T：教師の問い C：予想される児童の反応	◎：指導上の留意点 □：評価 ・手立て
導入	○表情カードを使い気持ちを考え、本時の学習の見通しをもつ。	T：お題「食べていたお菓子を落としてしまったら、友達が半分分けてくれた。」 C：うれしい気持ち。 C：食べたかったからうれしい。 T：今日は「やさしいきもち」ということについて考えていきます。	◎主題に関連する場面を提示することで、主題に対する課題意識をもたせる。 ・手立て①
展開前段	○教材「ぐみの木と小鳥」の劇を見て考える。	T：お話にはだれが出てきたかな。 C：ぐみの木。C：小鳥。 C：りす。	◎資料の内容理解を深めるために、教員による劇を行う。 ・手立て① ◎登場人物や場面絵を黒板に貼り、どんな場面だったか振り返ることができるようにする。 ◎写真をテレビ画面に映し、ぐみの木や実の説明をする。 ◎発問の前に、小鳥の気持ちを考えることをおさえる。

		<p>T：みなさんは、お腹を空かせた小鳥です。 ぐみの木の先生が実をあげますね。</p> <p><u>第1発問</u></p> <p>T：ぐみの木が、りすのことを話したとき小鳥はどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>C：どうしたのかな。</p> <p>C：心配だな。</p> <p>C：具合が悪いのかもしれない。</p> <p><u>第2発問（中心発問）</u></p> <p>T：嵐の中、りすの家に向かって飛び立つとき小鳥はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>C：りすが困っているから行かなくちゃ。</p> <p>C：行くか迷う。</p> <p><u>第3発問</u></p> <p>T：りすやぐみの木に「ありがとう」と言われた小鳥はどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>C：うれしい気持ち。</p> <p>C：届けに行ってよかった。</p> <p>C：喜んでくれてうれしい。</p> <p>C：親切にするとみんながいい気持ちになる。</p>	<p>◎教師がぐみの実を子供たちに渡すことで、小鳥がぐみの木に親切にされたことに気付かせる。</p> <p>◎場面絵を見せ、発言が難しい児童は、表情カードを出させたり、やハンドサインでの表現を促したりする。</p> <p>◎ぐみの木の模型や風、嵐の効果音などを使い、状況を捉えやすくする。</p> <p>◎児童がぐみの実を届ける役割演技を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手立て② <p>◎発言が難しい児童は、場面絵を見せ小鳥と同じ表情をカードの中から選択させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手立て②
<p>展開後段</p>	<p>○グループに分かれ日常生活の一場面について考える。</p>	<p>T：今日の『やってみよう』は、「パターンブロック積みをしていたら、隣の友達が倒してしまった。」こんなときどうするか、やってみましょう。</p> <p><u>Aグループ</u></p> <p>◎役割演技をし、自分の考えや意見を理由も含めて発表することができる。友達の意見を受けて、自分の考えを発表することができる。</p>	<p>◎主体的に関わり意見交流を行うことができるようにするため、3つの小グループに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手立て③ <p>◎自身の生活に結び付けられるよう、具体的な場面を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手立て②

		<p>Bグループ</p> <p>㊦役割演技をし、自分の考えや意見を理由も含めて発表することができる。友達の発表に対して、表情カードまたはハンドサインを出すことができる。</p> <p>Cグループ</p> <p>㊦役割演技をし、自分の考えを表情カードを用いて発表できる。</p>	<p>□体験を通して、身近な人に親切にしようとする気持ちをもつことができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>○教師の話聞く。</p>		<p>◎主題に関連した児童のよい言動を話す。</p>

7 板書計画

<p>やってみよう</p> <p>パターンブロックつみをしていたら、ともだちがおしてしまった。</p>	<p>場面絵③</p> <p>うれしい。 </p> <p>げんきになってよかった。 </p>	<p>「ありがとう」といわれたとき</p> <p>いかなくちや。 いくかまよう。 </p>	<p>場面絵②</p> <p>あらしのなか りすのいえに とびたつとき</p>	<p>場面絵①</p> <p>どうしたのかな。 しんばいだな。 </p>	<p>ぐみのきが りすのことはなしたとき</p> <p>やさしいきもち ともだち はつげん</p> <p>じぶん くらべる</p> <p>だい③かい どうとくじゅぎょう</p>
-----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------